



異種女奴
妊孕奇譚

第四幕





まさか……

この子のお腹の胎児を
自分のお腹に移したのですか!?

くっ……!!

エキュレイユさん!!
大丈夫ですか!?

胎盤ごと
私に転移させました

あとは私が
処理します

あなたはその子の
処置をお願いします

は…

はい……!!

ぐ………

反動で体が
すさまじい拒否反応を
起こしていますね……

魔力と栄養が
吸い取られる……!!

ちゅらっらっらっら



はぁ
。。。



225 000





.....!!

ぐぐぐ...!!



まだ大きく
なるんですか……

ぽん

ぽん

今まで母体の制約で
抑えていた成長を……!!

ぐん

ぐん

ぐん



とん...

とん...

落ち着きましたが……



これは……



30……31……
全部で32匹……

かなりの
ハードワークに
なりそうですね

みちっ

みちっ

みちっ

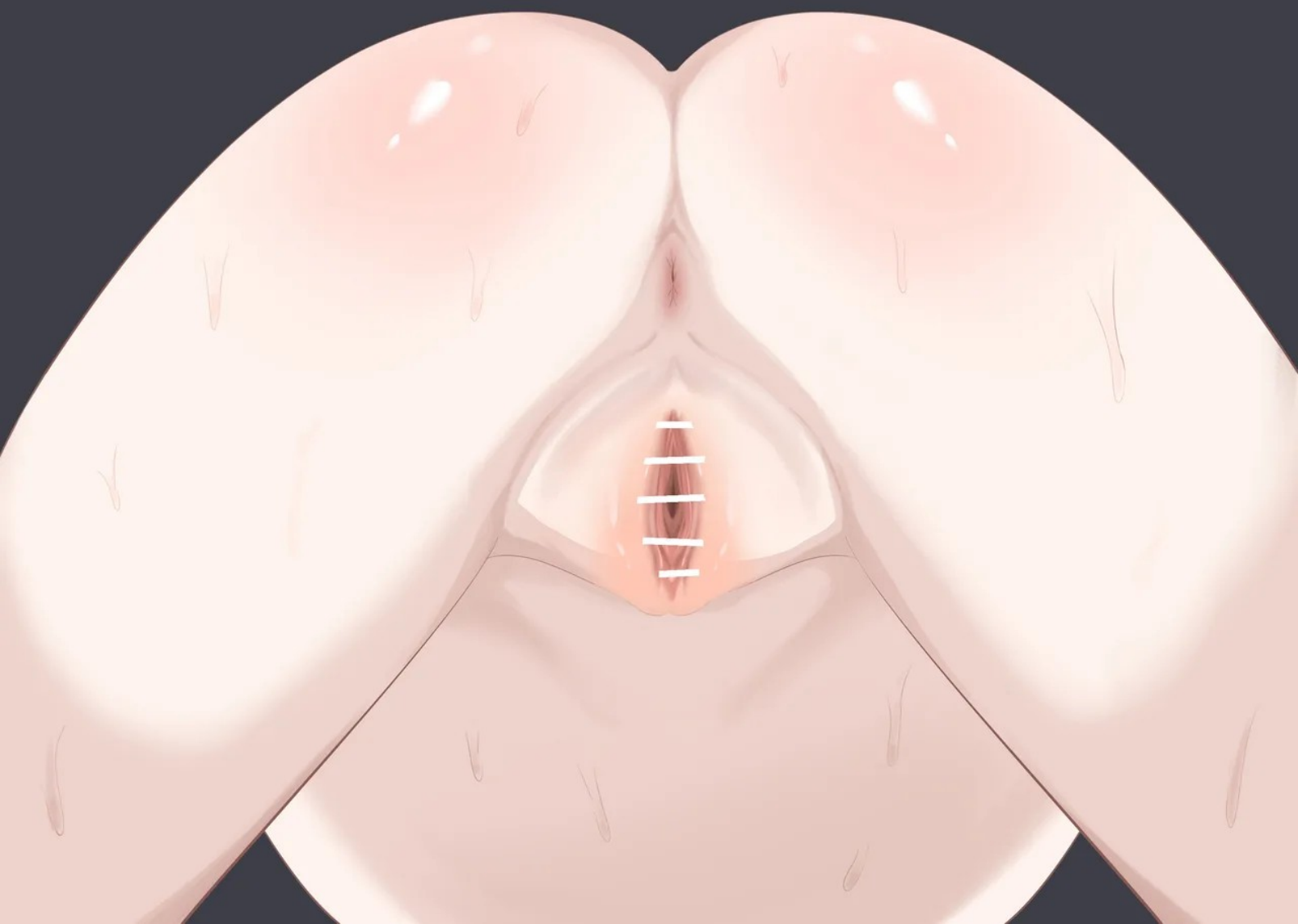


強化魔法は……
かけるべきではありませんね

転移後即座に私の魔力を
吸い上げ始めたことを考えると、
すでに私の魔力に
高いレベルで順応している



下手にパフを使えば
魔物を成長させることにつながってしまう



自力で産み落とすしかありません——



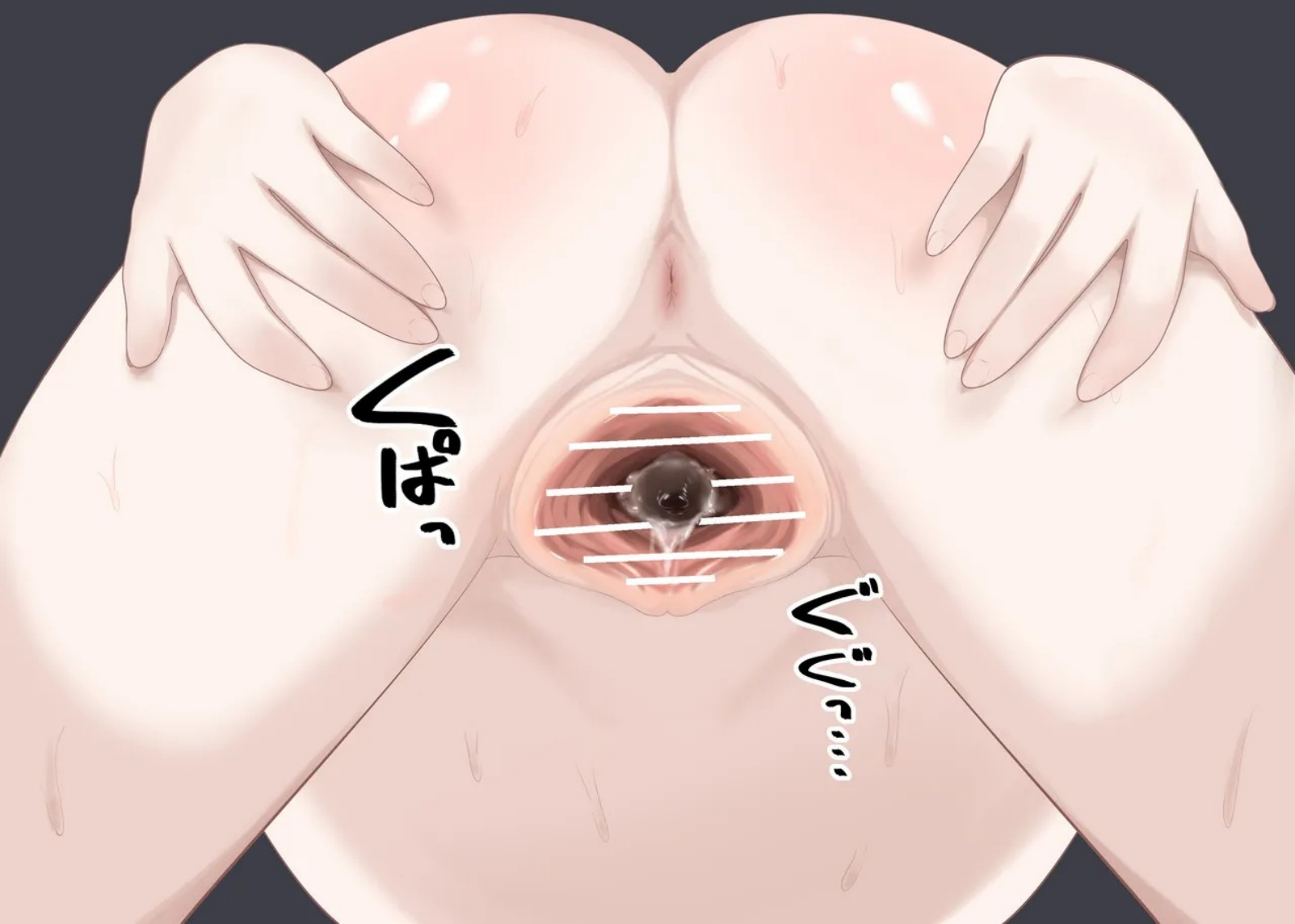
まずはさっさと一匹産み落として、
産道を広げないと





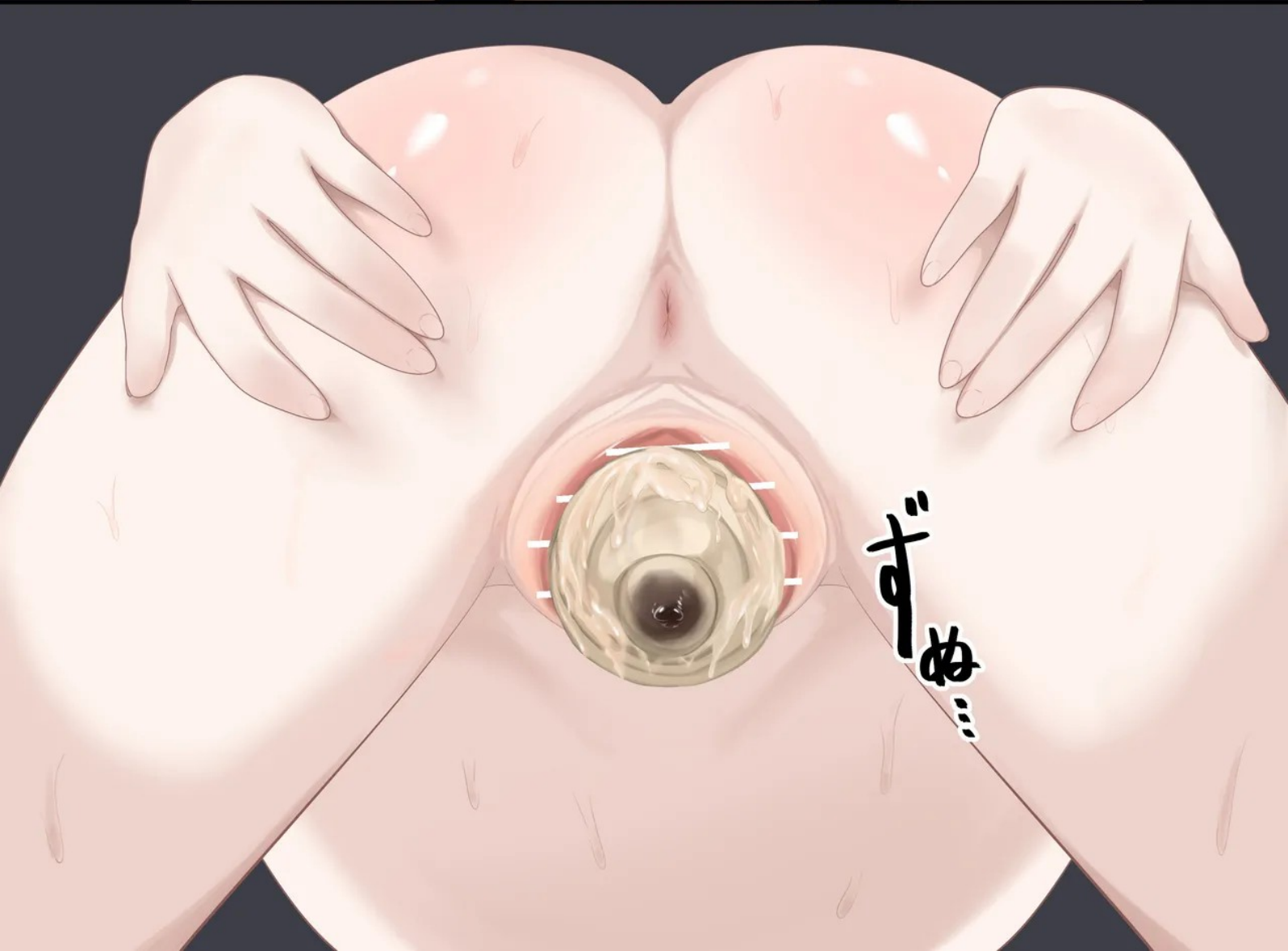
31
...

31
...



31
...

31
...















うわっ



うわっ

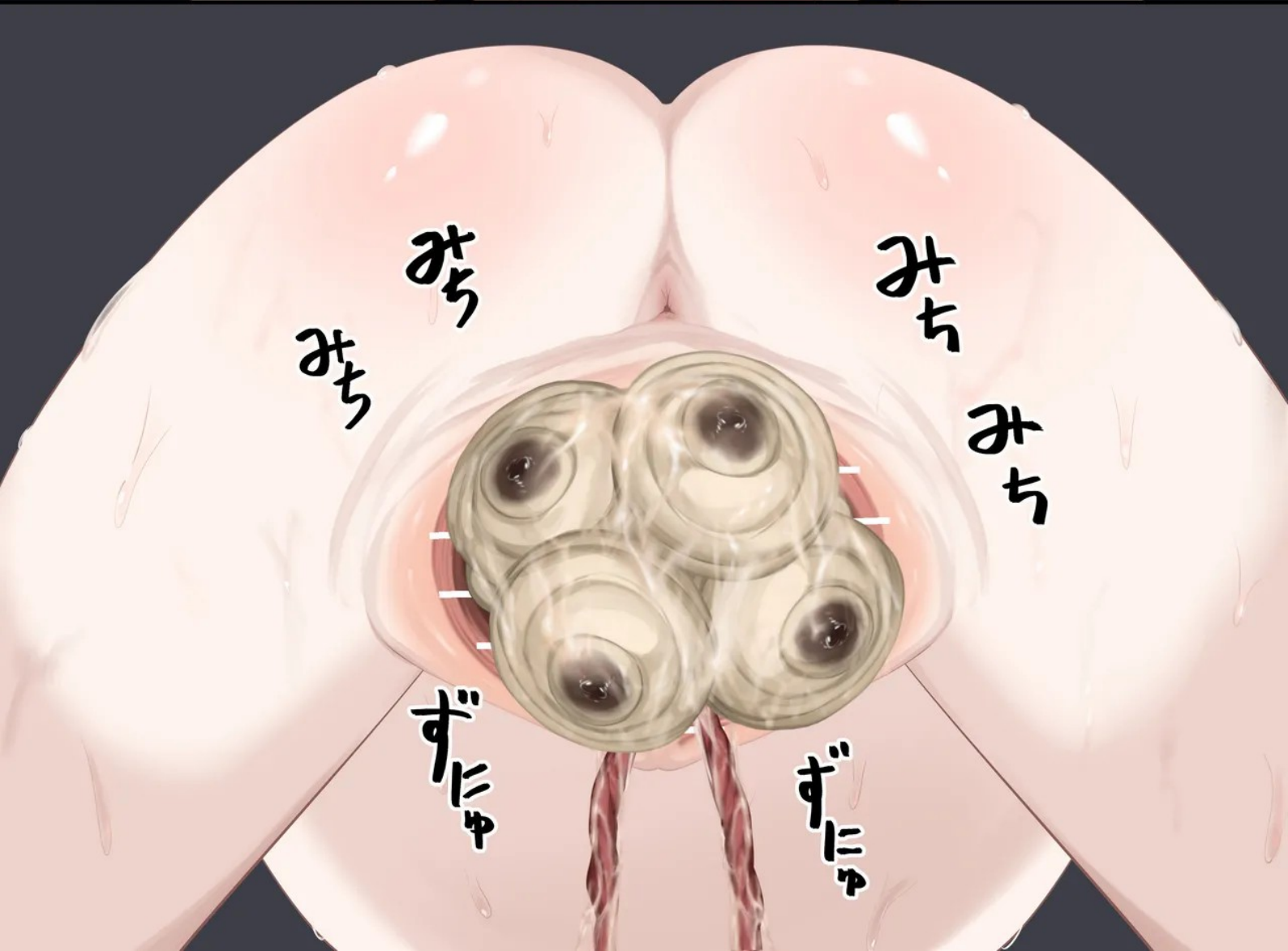
この感じ……………!!
複数匹同時に……………!!

母体の子のときもそうでしたが、
産道はひとつだけだというのに容赦ないですね

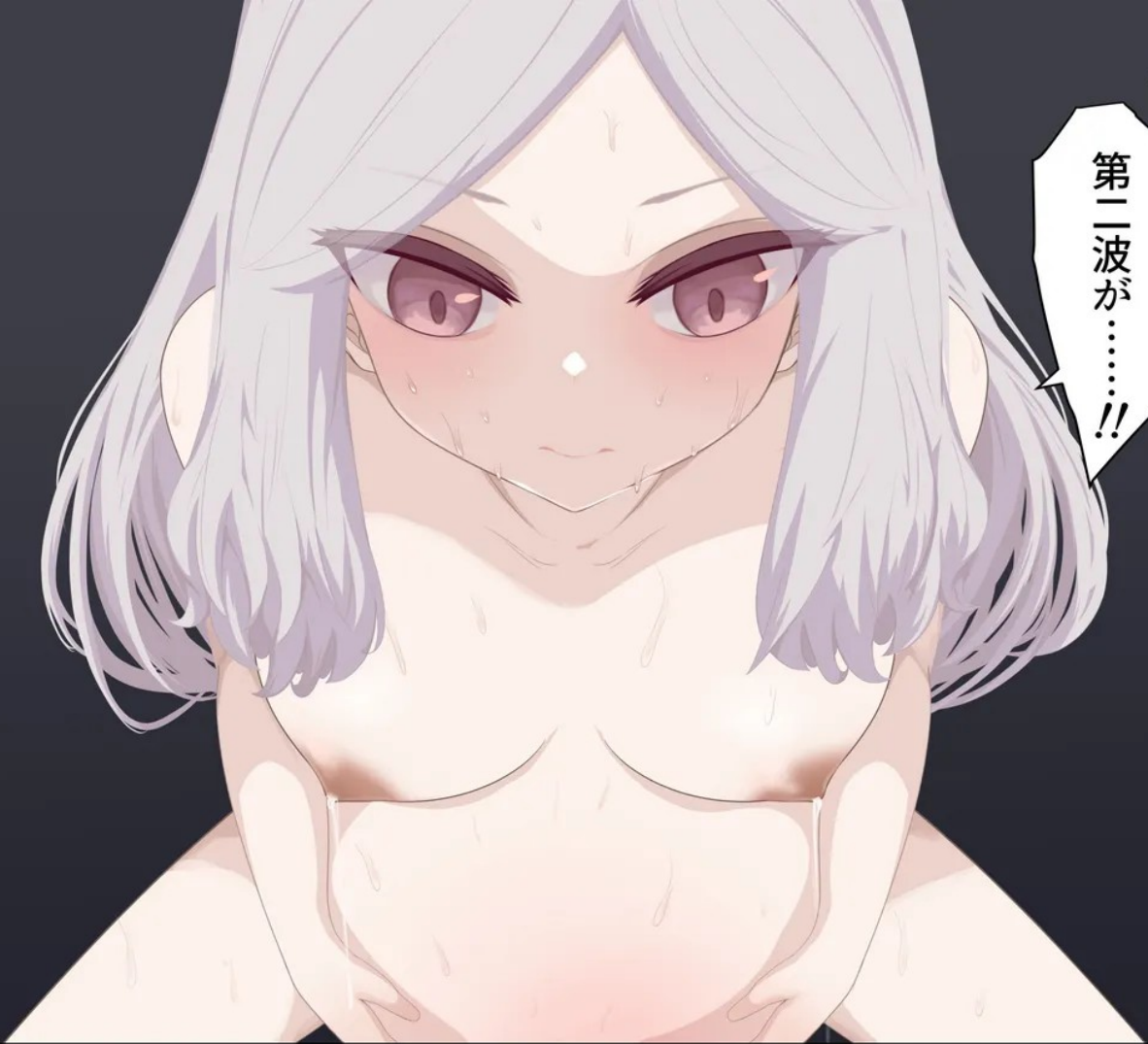


びぢん

びぢん

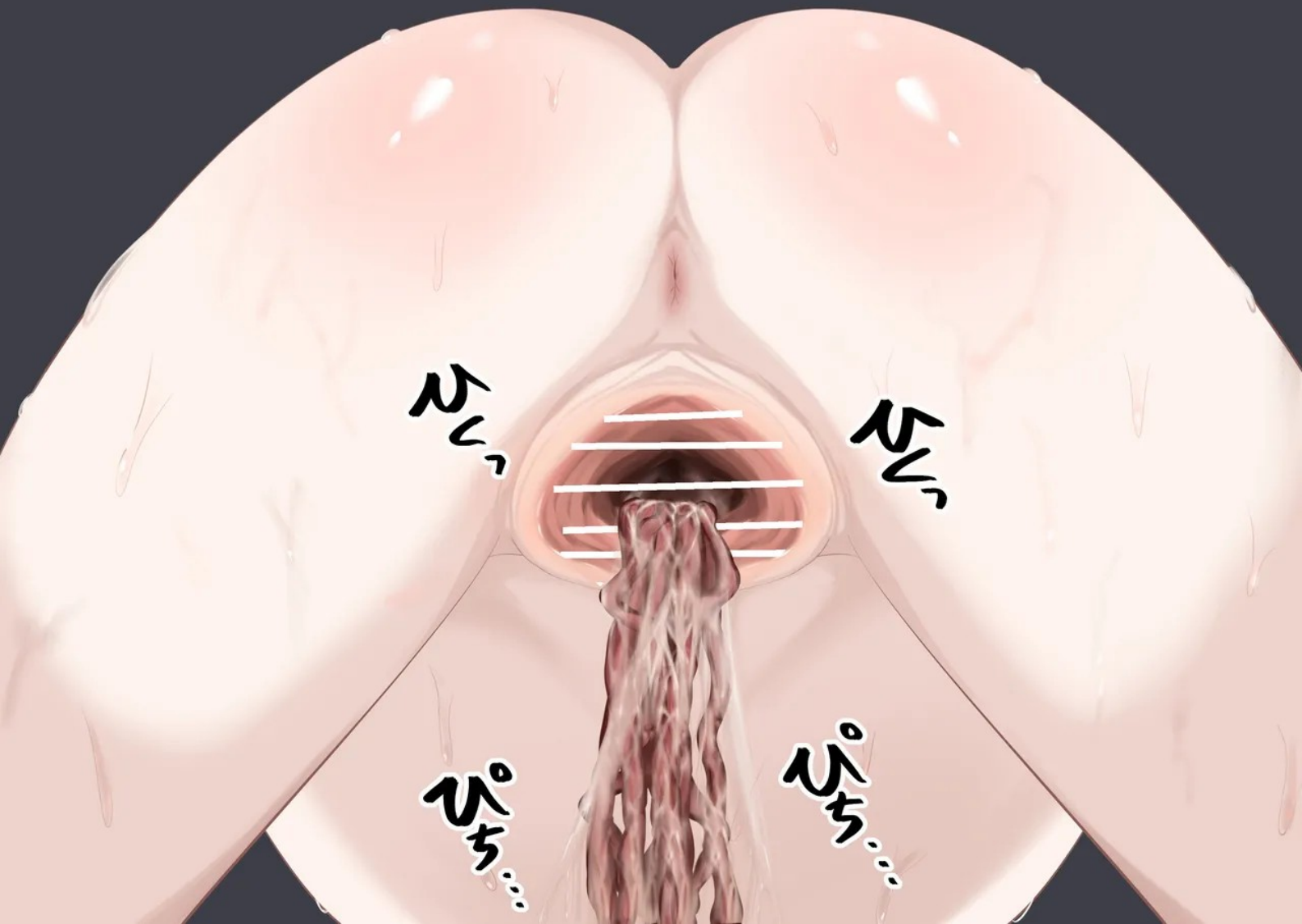






第二波が……!!

ぐっ……

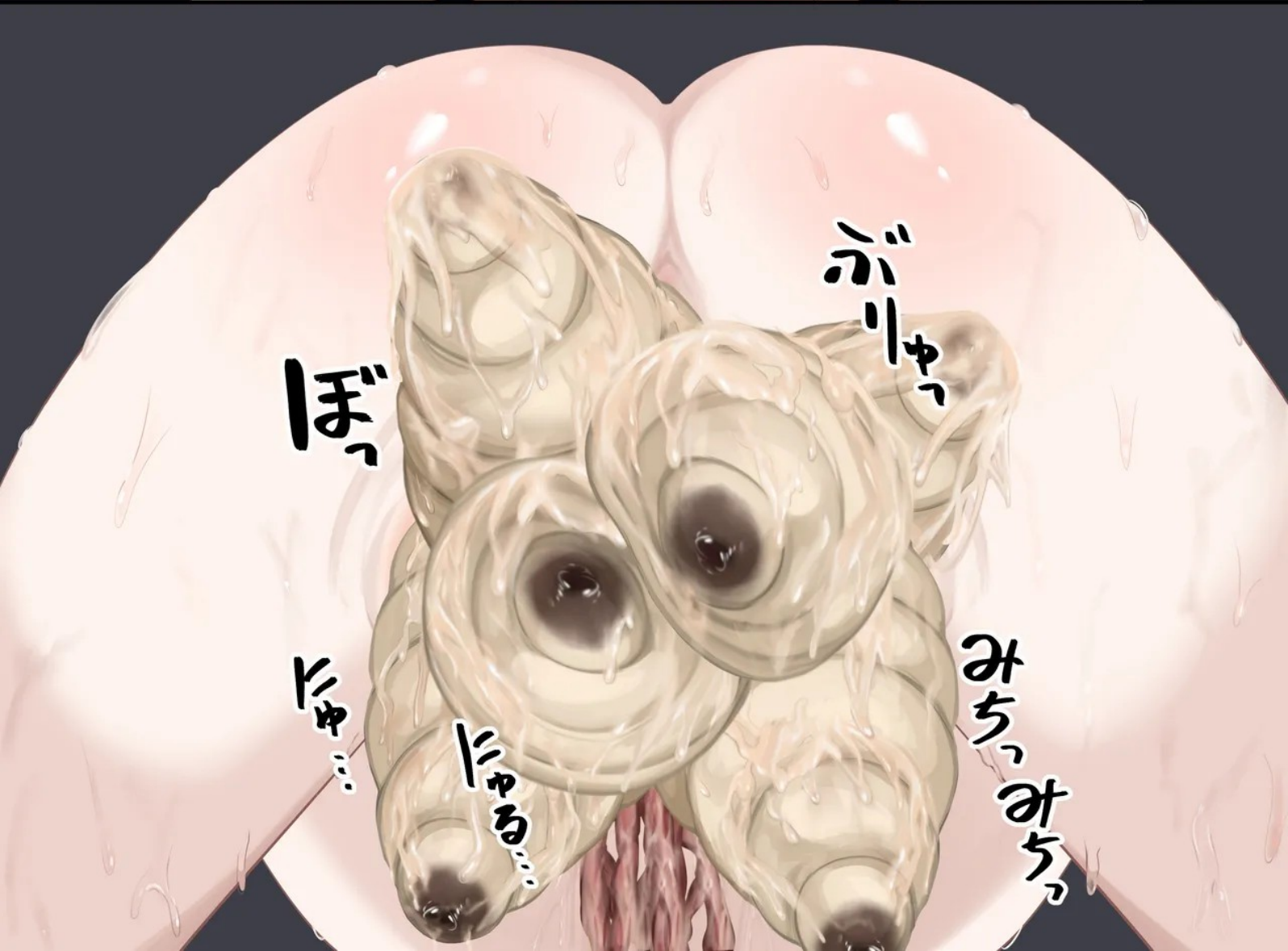


ぐっ

ぐっ

ぴち…

ぴち…





はあ……
慣れていなければ
すでに股が裂けてますね

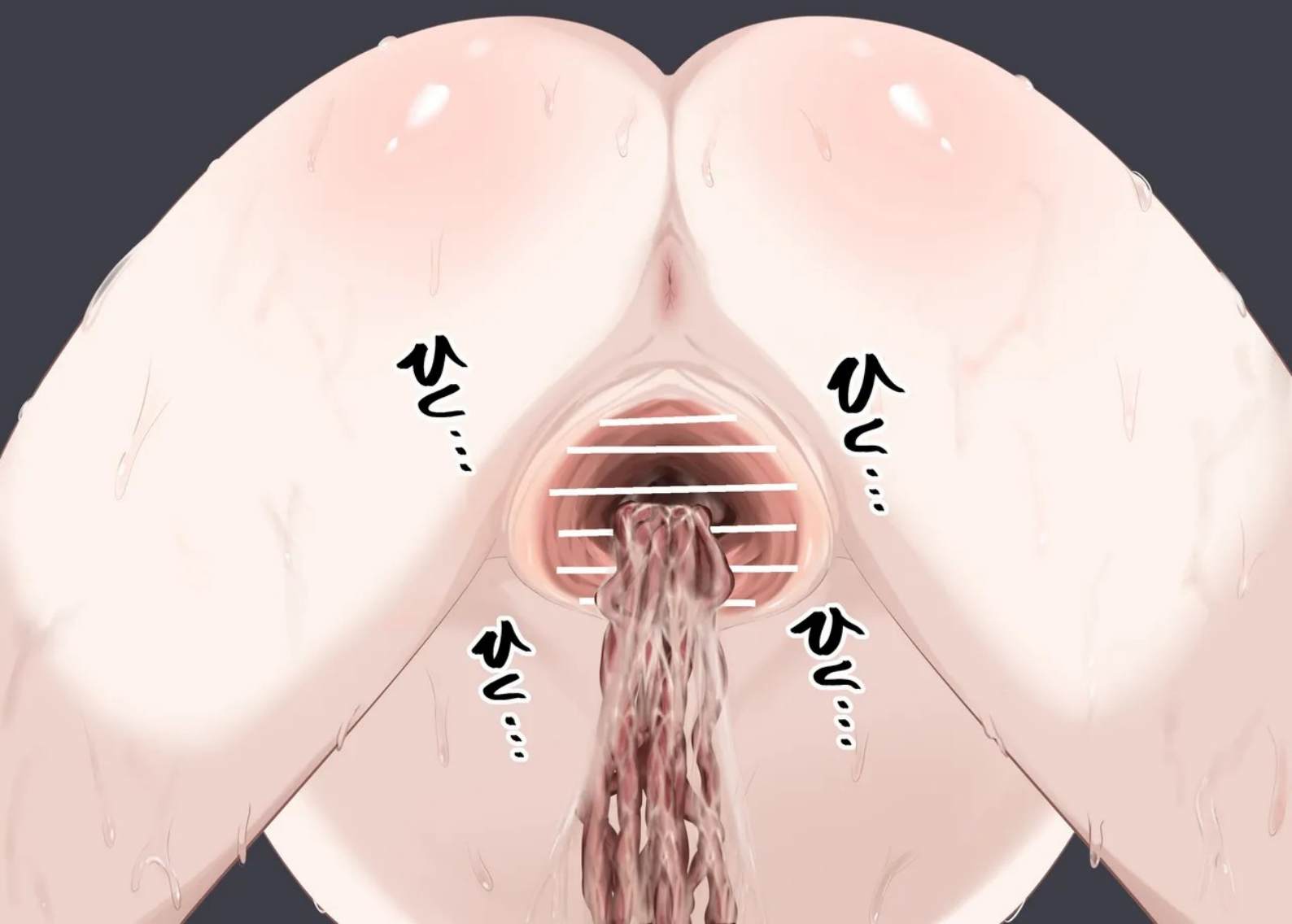
はあ……

はあ……

はあ……

はあ……

はあ……

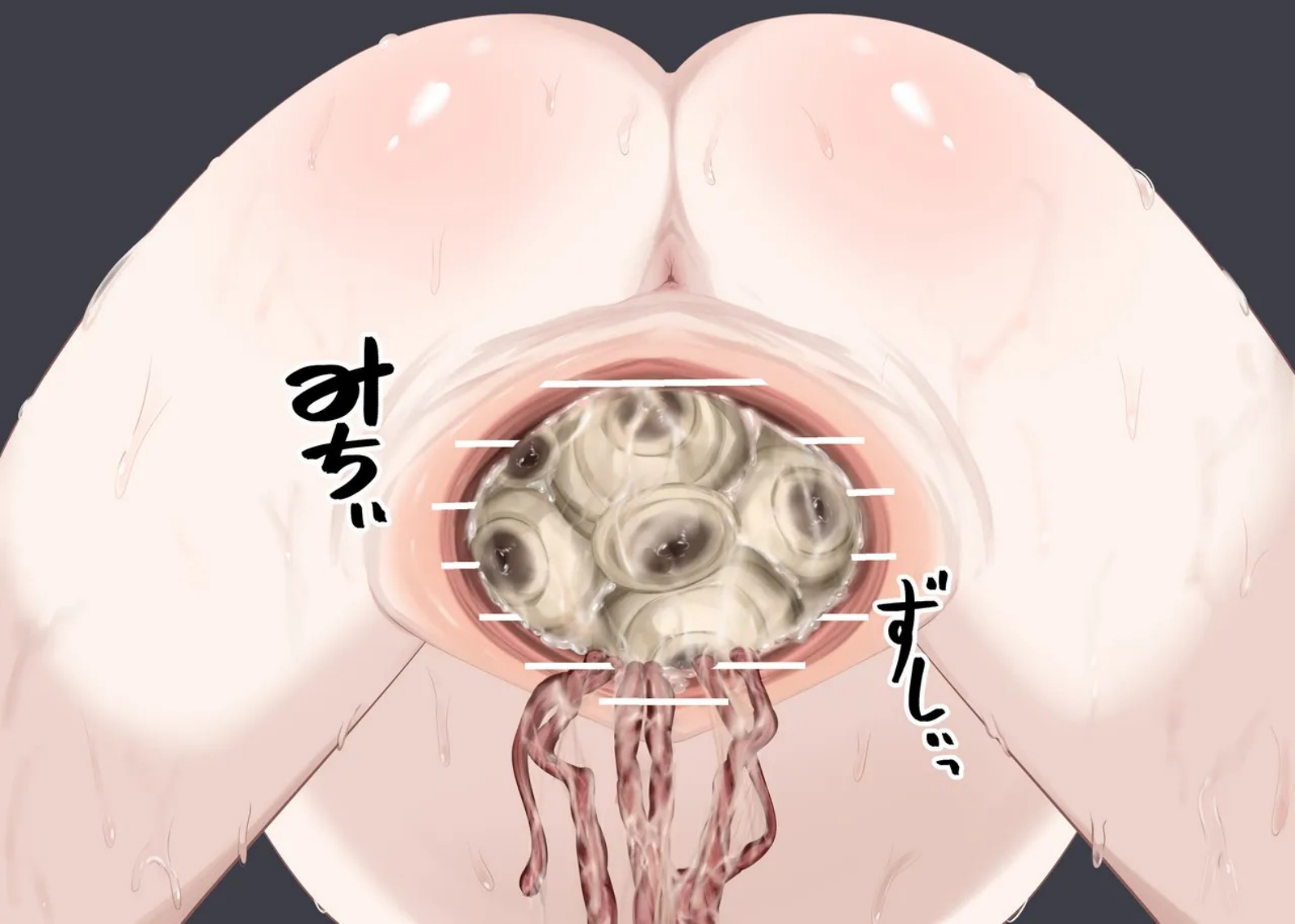


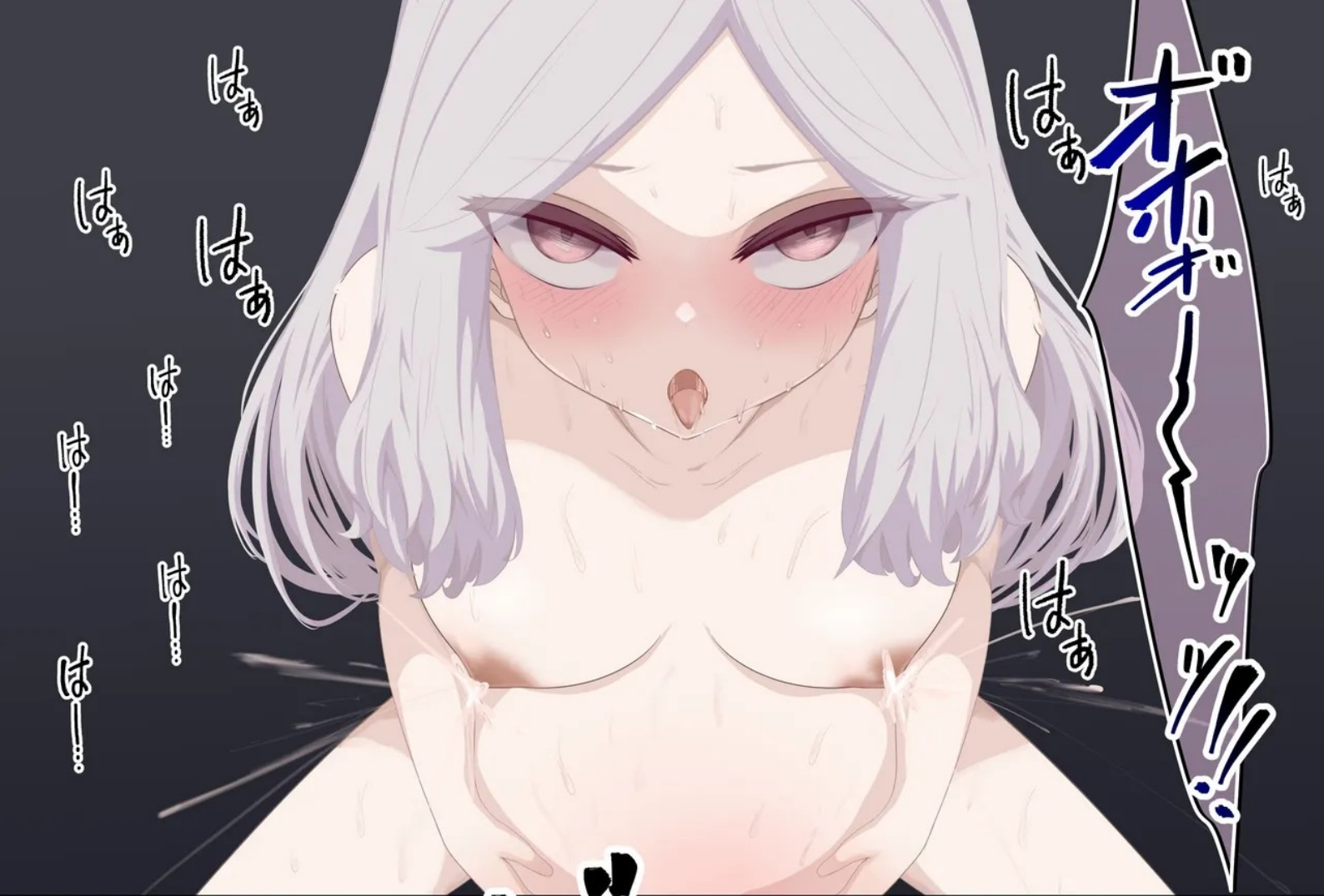
ひく……

ひく……

ひく……

ひく……





はあ、はあ……

今生まれたので31……

……あと
一匹だけ

ですが

にやる…

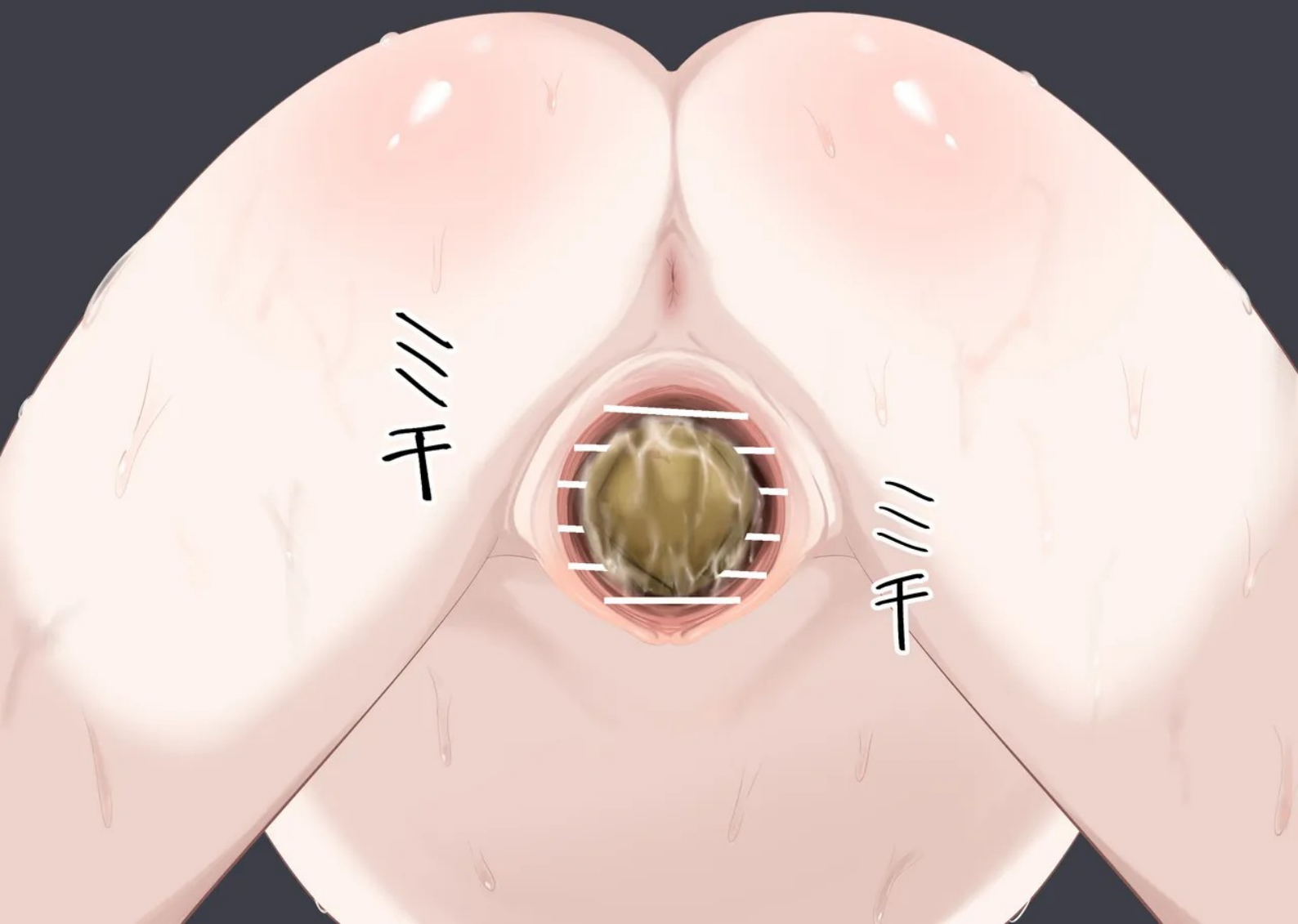
じやる…

まだお腹の張りがおさまらない……
はあ、勘弁してほしかったんですけどね

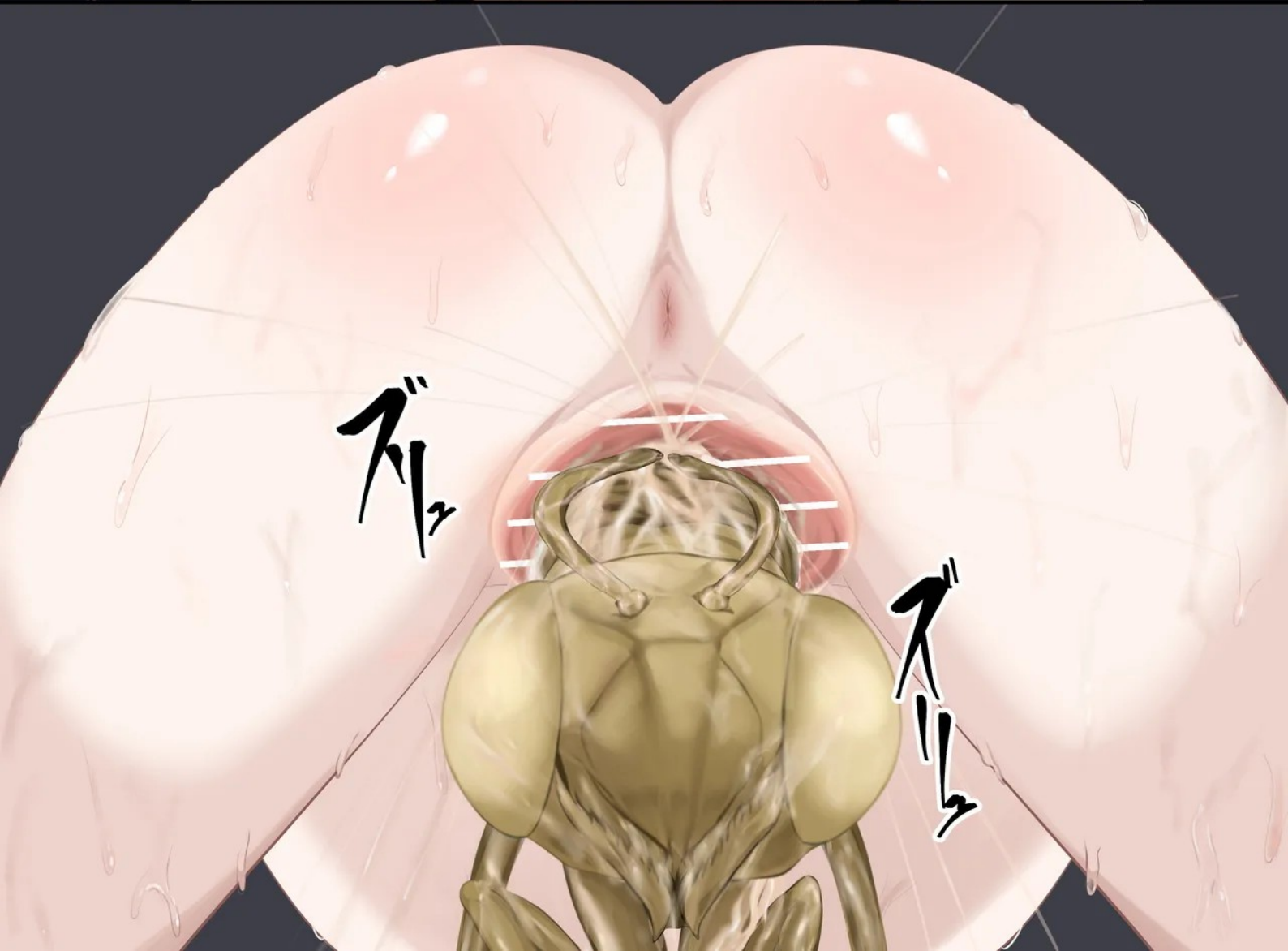


ボテ...

成長しきった個体が……………!!

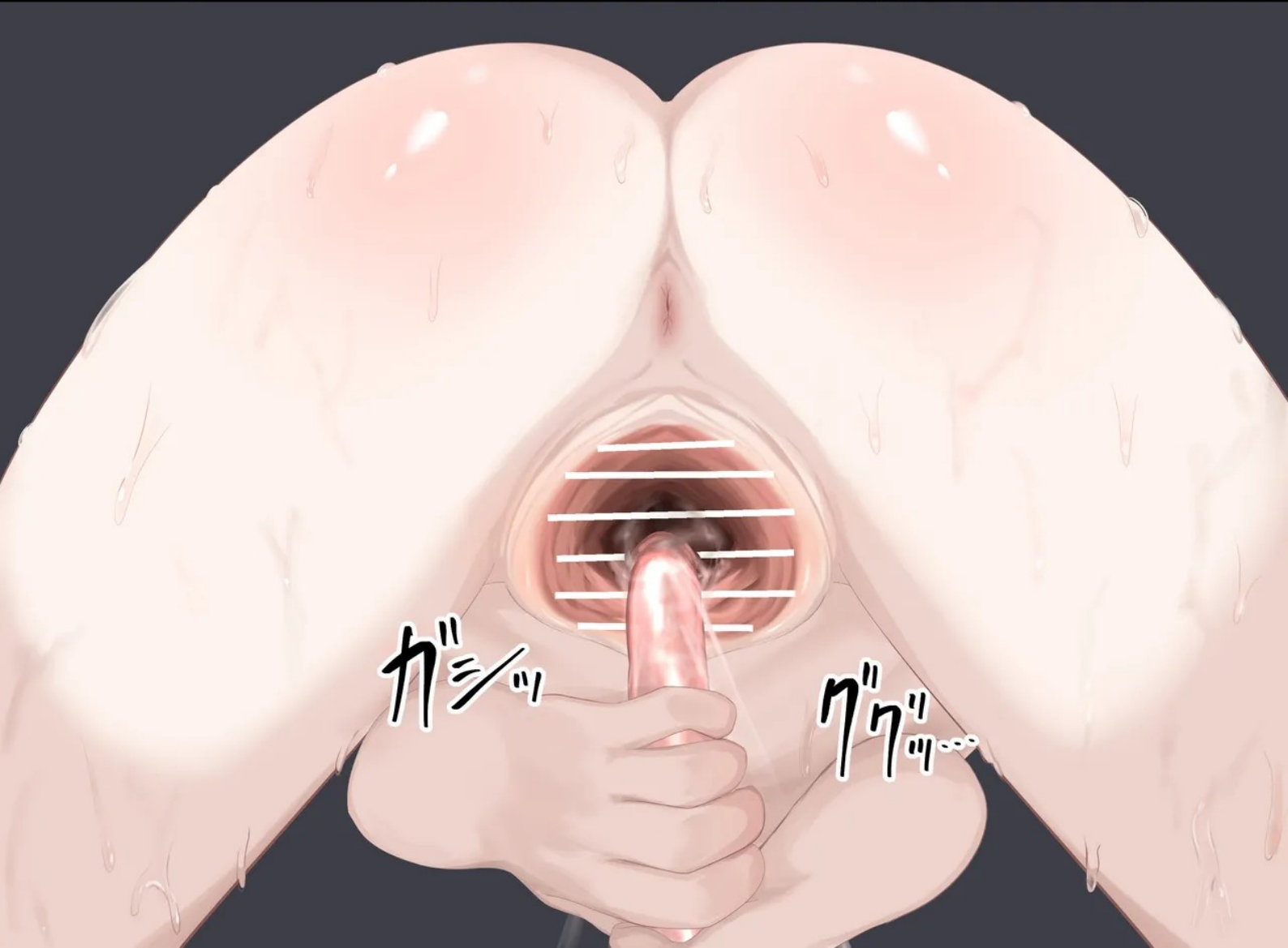










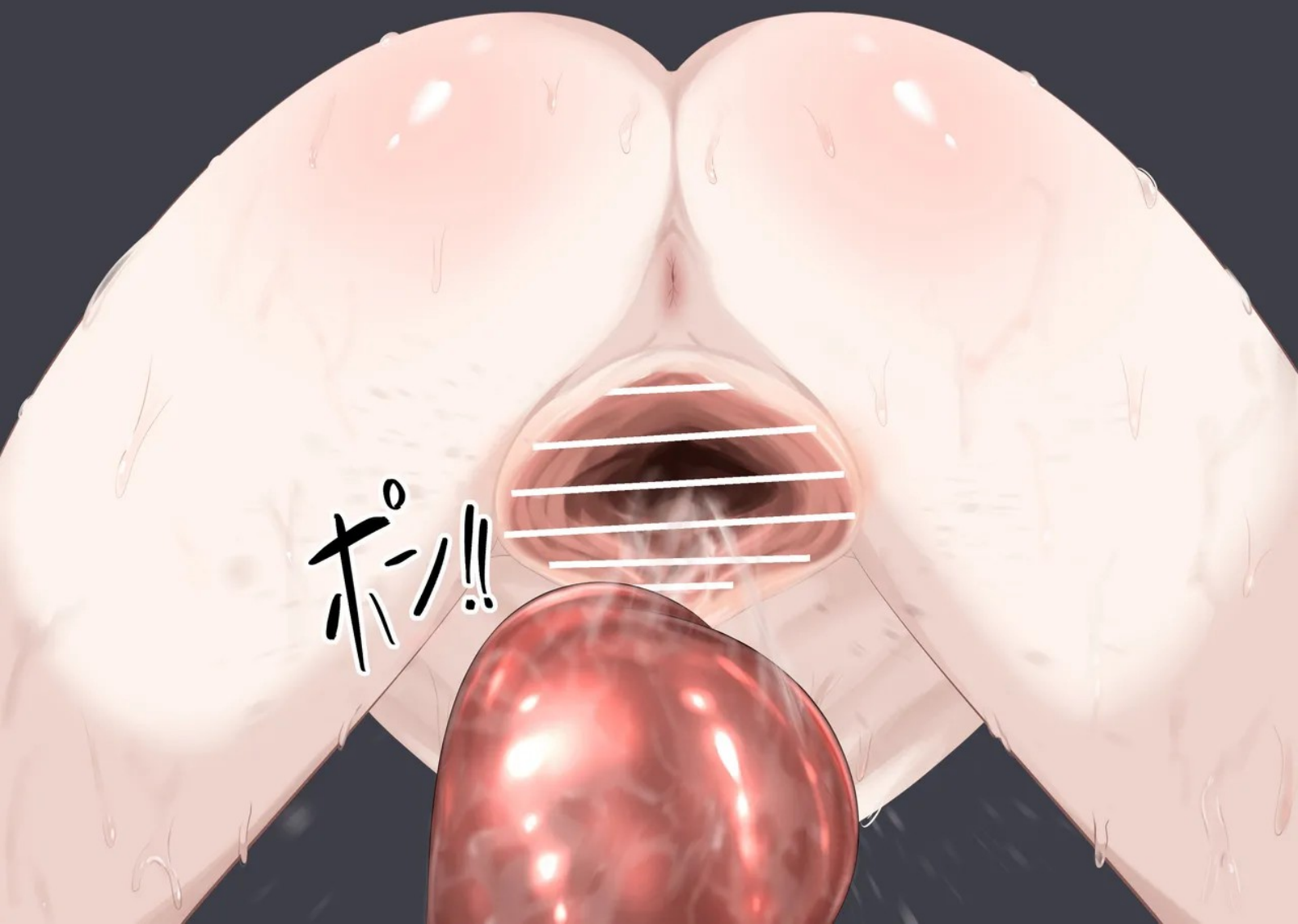


あ
~~~~~

ん  
~~~~~

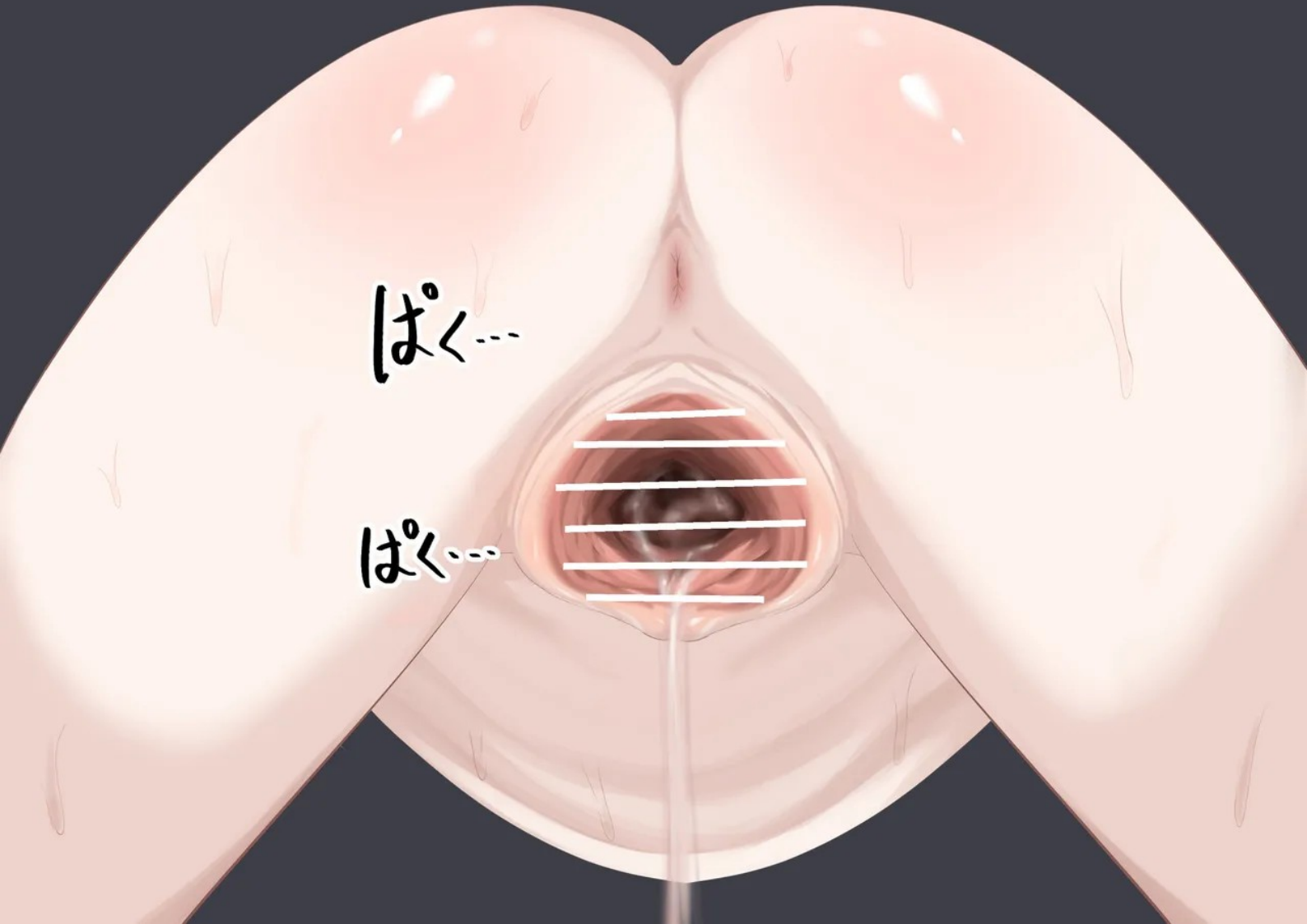


ポッ!!





はあ...
はあ...
はあ...
はあ...



はく...

はく...

はあ
はあ

はあ
はあ



魔力も微弱で
幼い母体から……

変異種が……



まだ……

はあ……

はあ……



この街で
起きていることは……

母……

ママ……
ママ……
ママ……
ママ……



あれ……？



うっ……

あ……

オレ、たしか腕が……



目が覚めましたか

ううっ……

体が重い……

んん……

お前ら
危なかったな

この嬢ちゃんが
いなかったら
確実に腕を
失ってたぜ

くつつけた
ばかりなので
なるべく安静に
しててくださいね

よかった…!!

みんな
生きて……

私たち
幼馴染なんです

あなたが
助けてくれた
ありがとうございます
ですね

どういたし
まして

でもあなたは
自分の心配を
した方が
いいですよ

あなたが

一番重傷です

内部被害があります

え？

ドクン…

ドクン…

思った以上に
成長速度が速いですね

半日もしたら
おそらく生まれます

は…？

生まれるって…

ゴブリンに
襲われたんですから
その子供ですよ

ゴブ…

えっ

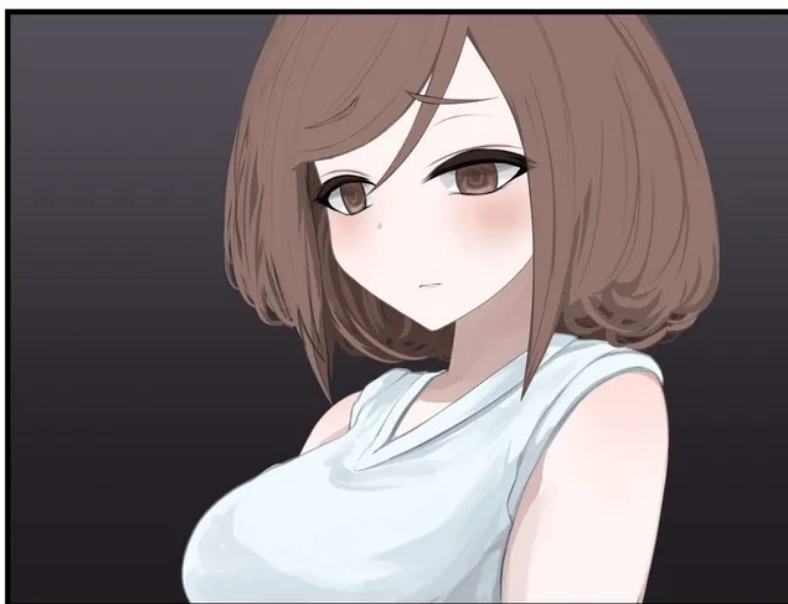
あっ……

あ……

オ
エ
ッ



.....!!



すまない…

私をもっと
しっかりしていれば
こんなことには
ならなかった

私の責任だ

.....!!



エタンドール様……!!

貴殿と
話がしたくてな

わざわざ
私なんかのために
お時間を…



そんな！
謝ることなんて
ありません!!

みんな
こうして
生きている
んだから…

……何も問題は
ありません



私から
お願いがある



騎士として我々と共に
戦ってくれないか

えっ――

今まで貴殿が
力を貸すといつても
断り続けてきた

だがそれは
私の意地で

市民を極力危険な
目に合わせない
ようにしたいという
私の我儘だった

もし貴殿の心情が
変わっていないなら
どうか力を
貸してほしい

それは――

承諾致しかねます

私では
力不足です

!!

先日の襲撃の際
身を挺して市民を
守ってくれたと
聞いている

貴殿に騎士としての
素質は十分ある

ありがとう
ございます

エタンダール様に
そう言って
もらえるのは
うれしいです

でも――

私は騎士として
何もできなかった

私は
あまりにも弱かった

ゴブリン1匹相手に
すらまともに戦えなくて

その結果
取り返しのつかない
“ギズ”を負いました

エタンダール様の
ように強くなければ

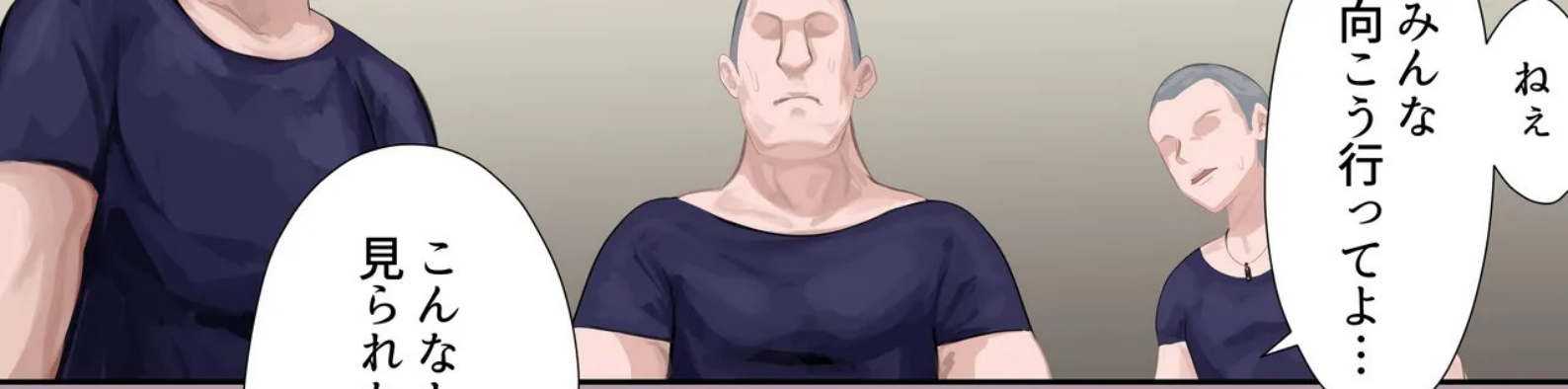
ボキッ

騎士として務まらない
ということをよく
理解したんです

そ…

そんなことは…

わかった……



ねえ

みんな
向こう行ってよ…

こんなところ
見られたくないよ!!



す、すまん

手伝うように
言われてて…



ごめんなさいね

こつちも人手が
全然足りてなくて



申し訳ない
ですが
手伝えません

付き添い人に
手伝って
もらいながら
対応して下さい

ああ…
実は招集を
受けています…



エキユレイユさん!!

先ほどのお嬢さんが
産気づきました!!



うう……

皆に見られて
は恥ずかしい……!!

えっと

まずは胎児の
状態を確認するわ

……どうい
うことですか？

私は透視魔法は
使えないから
マッピングで
表示するわ

……………??



わ、私の
お腹に三匹も…!!

ドクッ

ひっ

!!

ドクン…♡

ドクン…♡

ドクン…♡

とくに
問題なさそうね

これって、
みんなにも
見えてる……？

私のお腹の中まで
見られて……!!





カ

ッ

もど

もど

もど

もど

もど

もど

はじまったわ

ビュッ

.....!!

ふー



うぎゃー!!

いやだ……!!

ゴブリンの子なんて
産みたくない……!!

うぎゃー



頑張って!!

頭まで出してくれれば
あとは引っ張りだせるから

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ふーッ

ふーッ

はぁ

はぁ

ぐー...



その調子よ

ぐ
りゅん
!



ビーン!!
ビーン!!

んおおおおおオオ!!

ぬ
ぷ

ず
〜



あと二匹よ
頑張つて…!!

は…

は…

は…

は…

は…

は…

これが…

あと二回……

ヌグ

ヌグ
ヌグ



ビクン!!

ゲッ!?

げっ!!





ああ……

女神様……

この地獄から……

はやく
抜け出させて……
ください……





ごめんなさい
私の判断ミスね

最初の1匹目を
手でつかんで
引っ張り出したのが
よくなかったわ

残り2匹の
生存本能を刺激して
しまつて……

今、最後の1匹が
子宮口から遠ざかって
逃げてしまっているわ



も…

もう中の仔を
ころしてください……

それをやるのは
リスクが高いわ

それに
あなたの場合は……



とりあえず
力業でやるわよ

.....は？

.....え？

うひゃ.....







ぐっ
おおー
おおー

んおおー

おおー
ん

んおおー

おおー

おおー

おおー
おおー

い
ぐ

いた
—
!!

が
ん!!

ギ
ン
ギ
ン
ギ
ン!!

んおッ!!
おオオッ!!

んぐッ!!
ううッ!!

ゴリ
ゆゅゅ

ギアアアッ!!

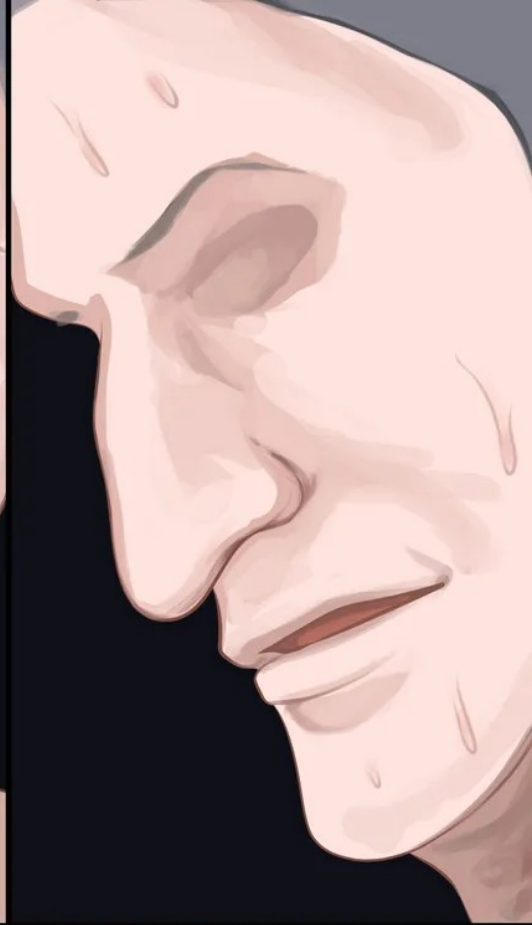
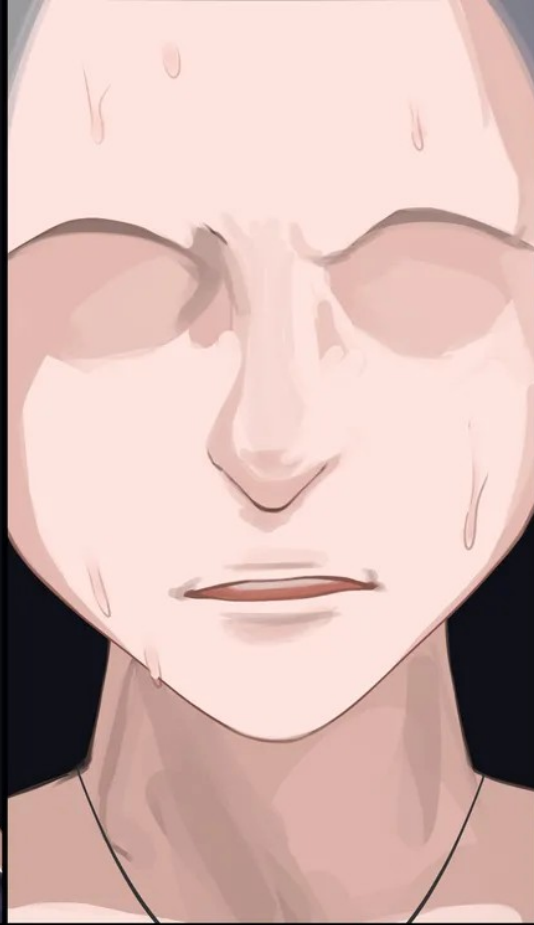


荒っぽくなって
しまつて
ごめんなさい

おつかれさま

初産なのに
よく耐えたわ





よぎ／＼ああ

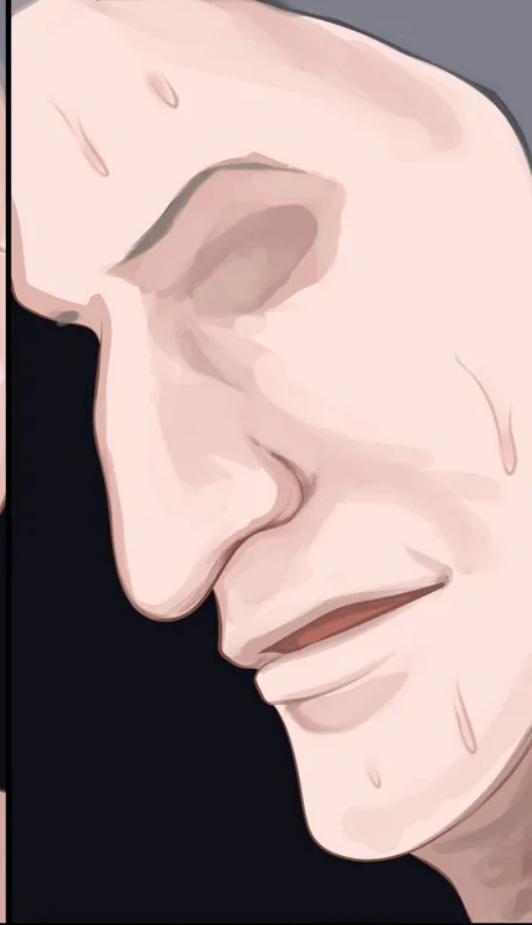
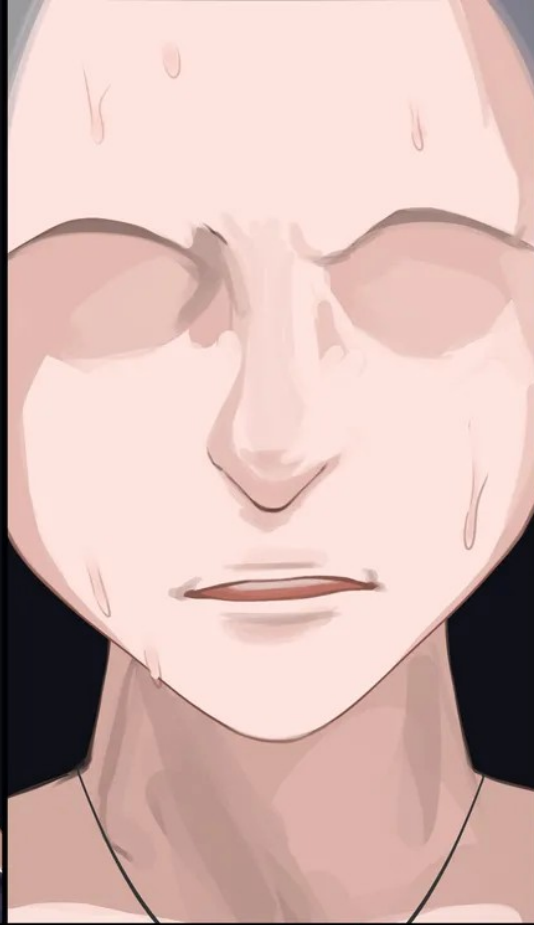
よぎ／＼ああ

よぎ／＼ああ

よぎ／＼ああ

よぎ／＼ああ

よぎ／＼ああ



人間みてえに

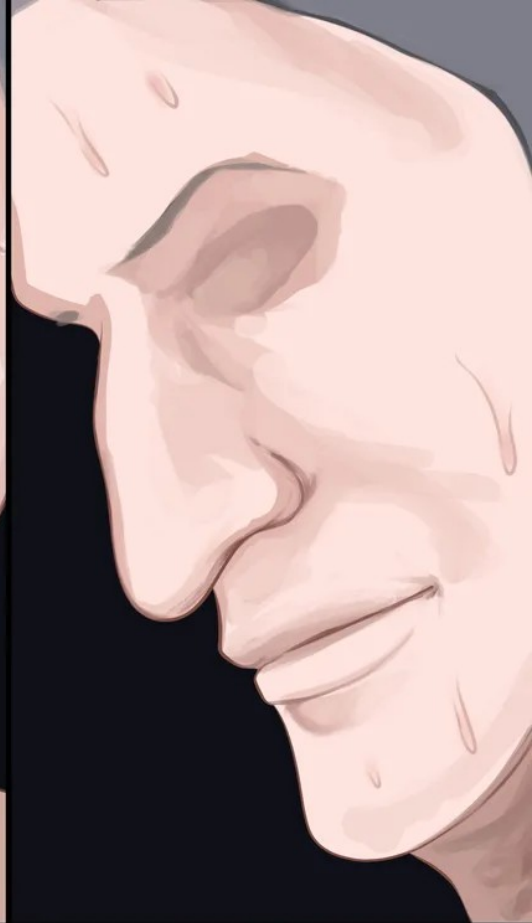
へその緒で
つながってる…

……!!

これを
リタが…

こ

産んだのか……

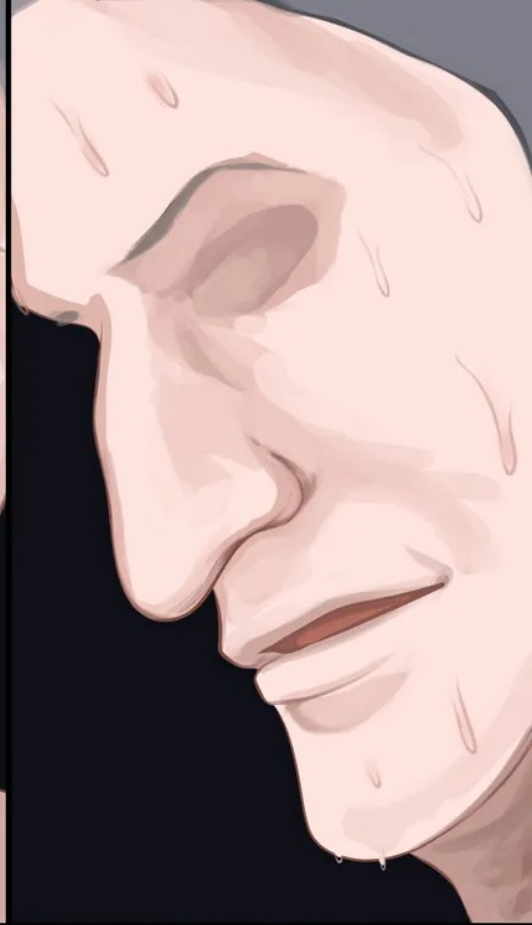
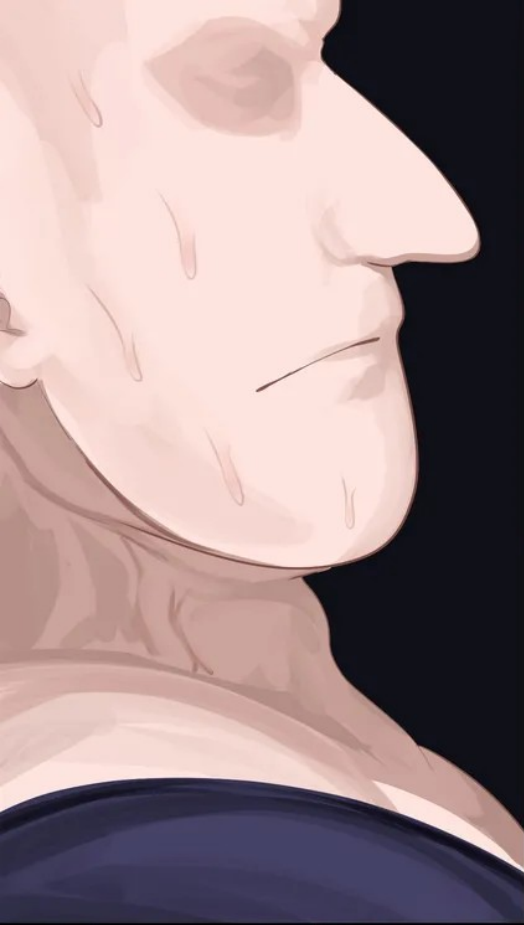


この中の誰かが
リタと恋仲になって……
夫婦になって……

それで子供ができて、
その子供が大人になっても
みんな友達のまま、変わらないまま
過ごすんだろう

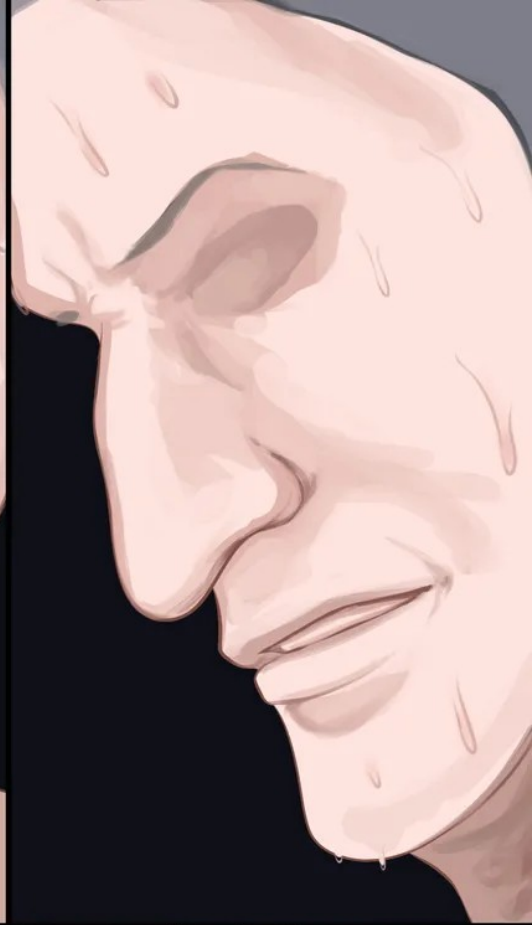
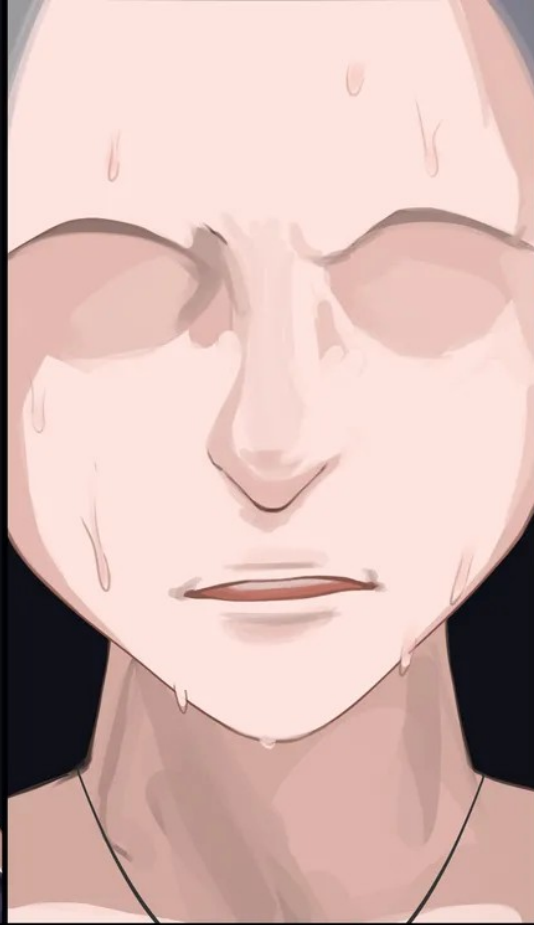
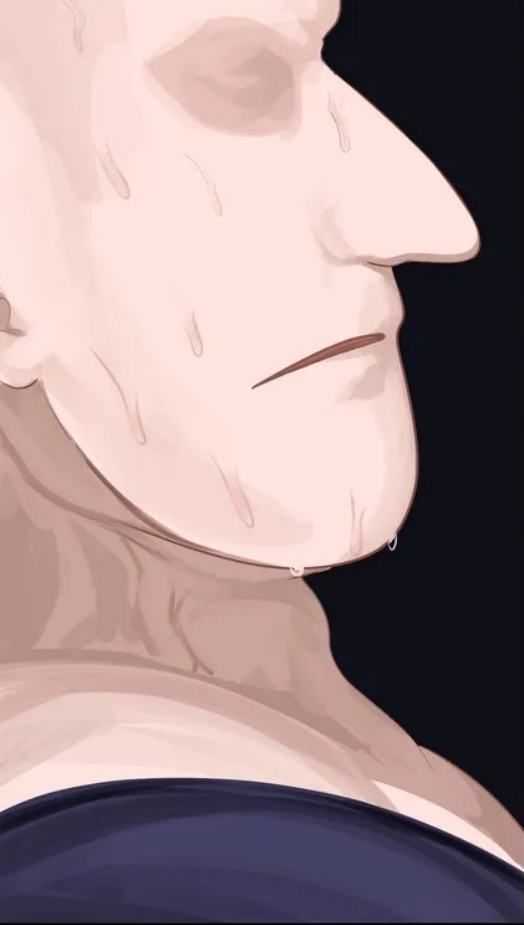
——そう思ってた。

——今日このとちまいで



躊躇するなよ
迷わず殺せ

アッ

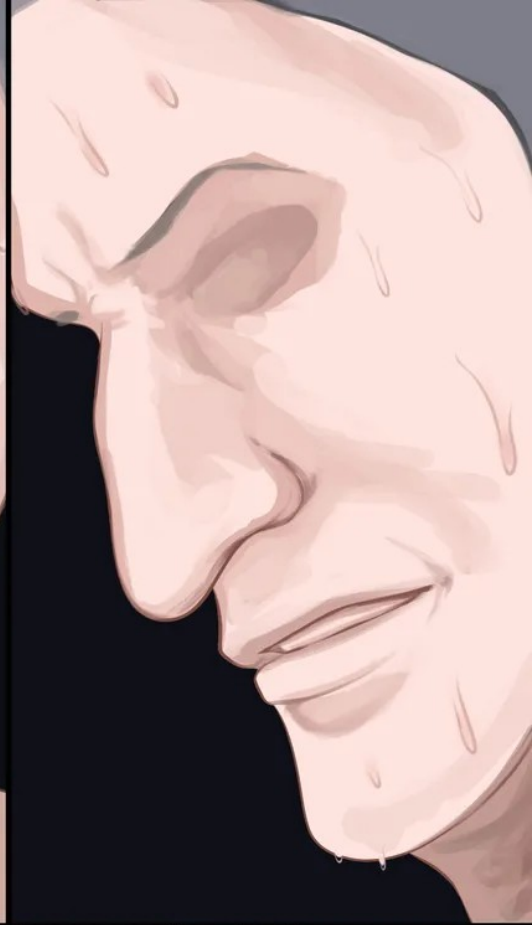
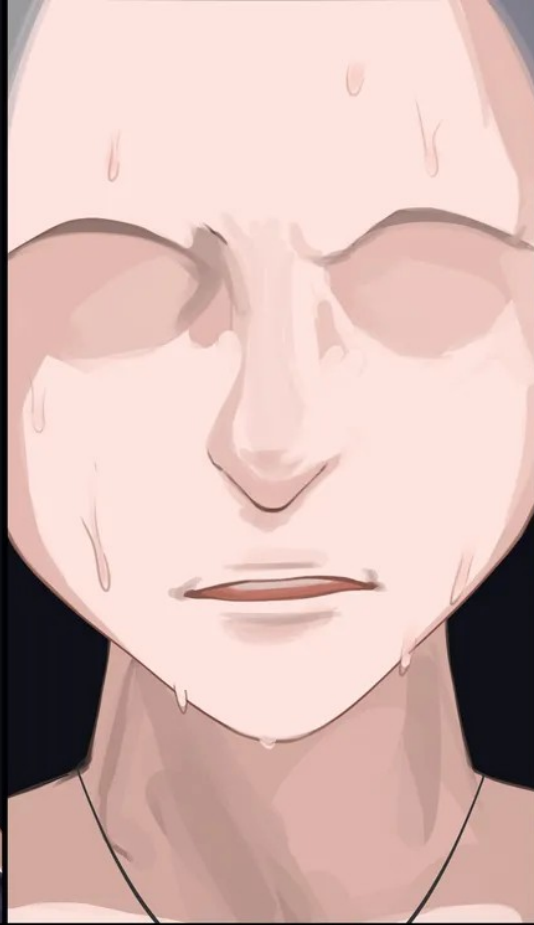
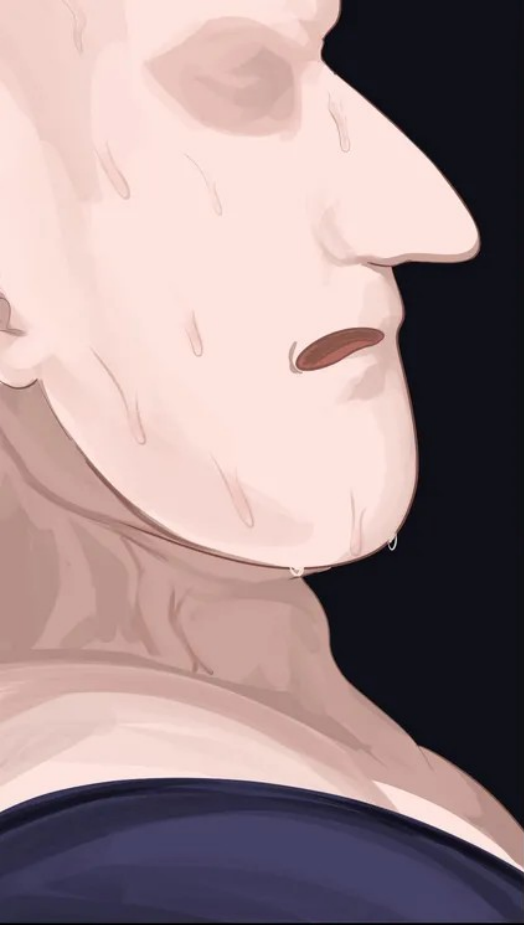


お

おい…

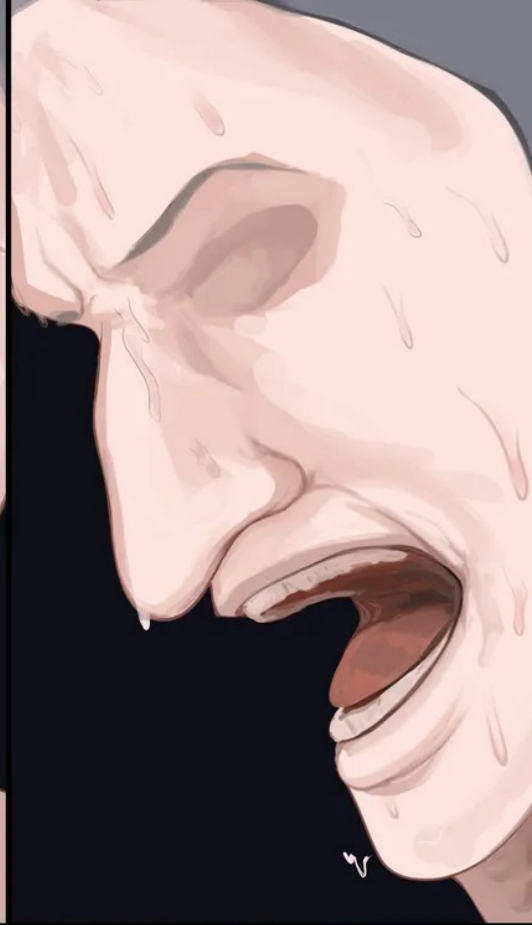
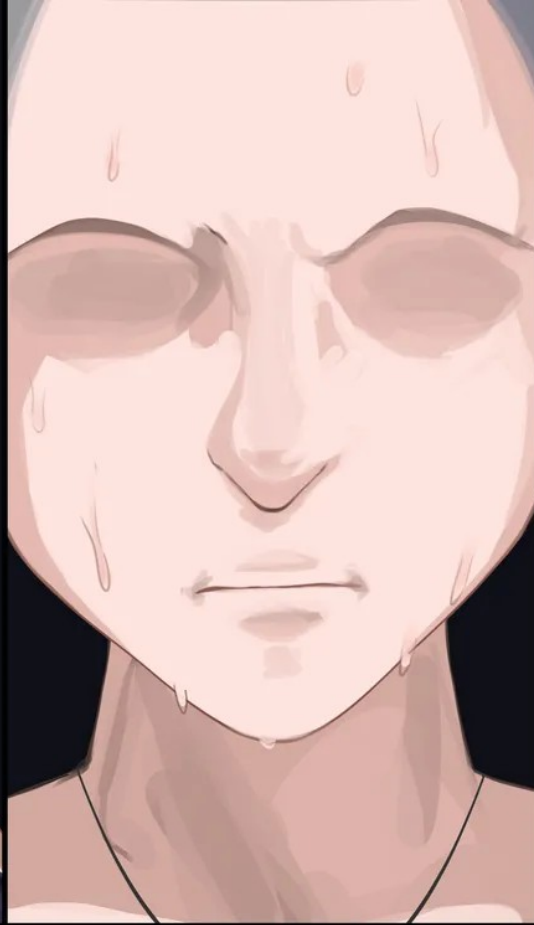
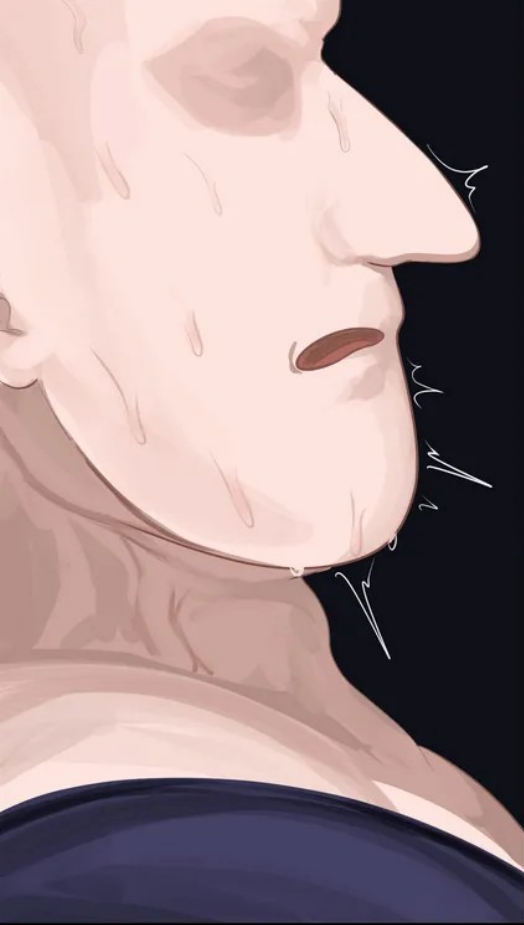
これ…

髪の毛が
リタと同じ…



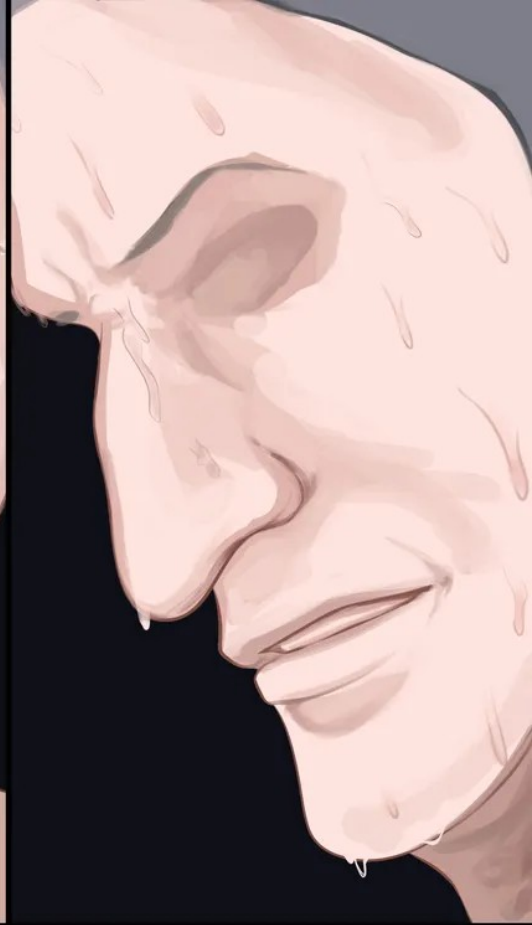
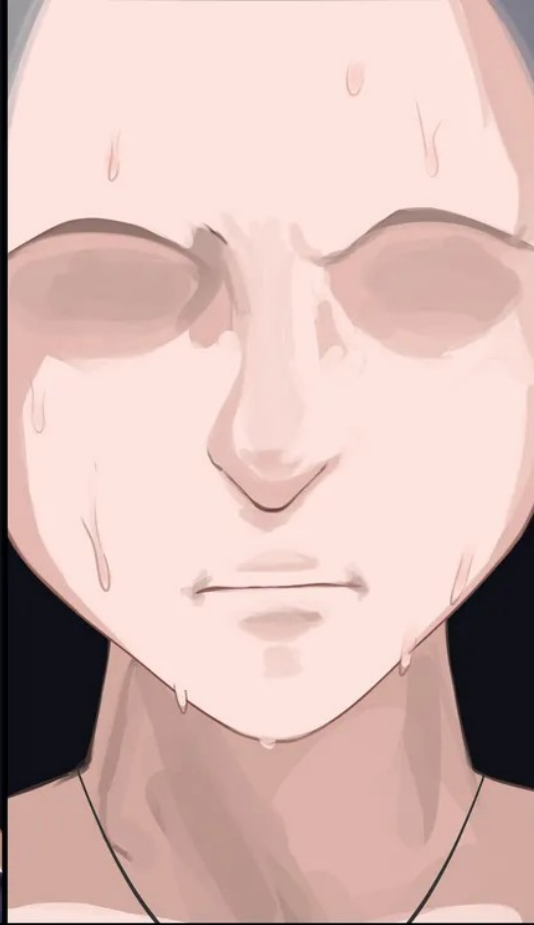
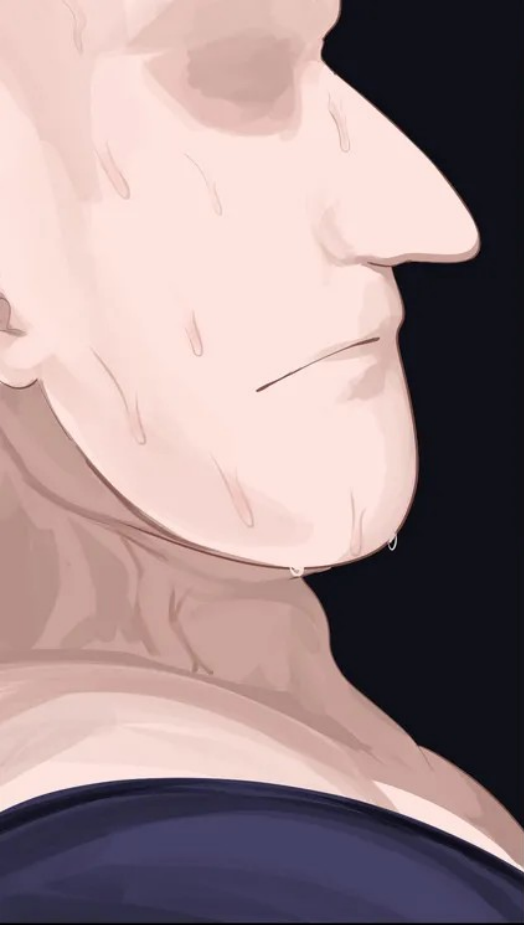
こいつも
耳とか…
顔も……

なんか似て……

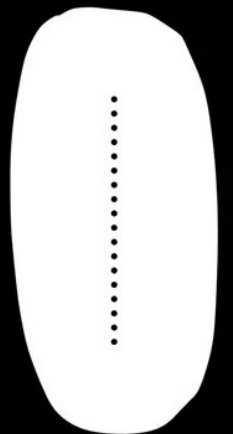
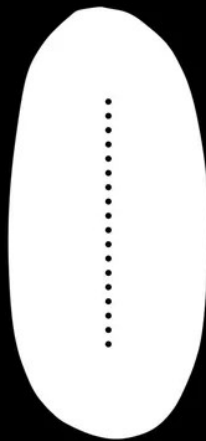


考えるな

!!



10
11
12
13





ゴブリンの仔は
彼女の幼馴染3人を嘲るように
ちやうど3匹生まれた。

きつと4人の間には
年頃の男女たちらしく
複雑な恋愛関係があつたことだろう

——しかし、
たった一匹のゴブリンが
彼女の子宮を制覇したこと
ですべて粉々に砕け散つていった



だがそれは
致し方ないこと。

女神の加護を持たぬ者など
あまりにも無力であるのだから――



私に話とは
いったい何でしょうか？

外征騎士団の
お偉いさん？

サ



こんな
人気のない所に
連れてきて……

……

まあ私も話したい
ことありましたし

この際はつきり
言いましょうか

私のような
戦えない騎士では
この街の状況を
打開することなど
できませんよ？

私をここに呼んだ
目的はなんですか？

看護騎士
エキュレイユ…

エタンダールの
バイタルチェックを
やってほしい……

数日前……
温泉でへその緒と
思しきものが
落ちていたのを
発見した

前から
こういうことが
あったときは
秘密裏に処理して
いたんだろう

先日バツタを
出産したときも、
魔物を妊娠している
ことを周りに内緒に
していたんですよね

まあ一応
デリケートな
事だからな

私はそういうの
あまり気にしない
ですけど

色々と抱え込む 彼女は…
タイプなんだ

本当にそれだけ
ですか？

別にそれくらいなら
ふつうに医者を
呼びでもすれば
事足りますよね

わざわざ中央から
騎士を呼ぶ
必要はありません

なぜ私を
呼んだんですか

はっ…

鋭い娘だな

この異変の
解決をしたい

それも
根本的な解決をだ

これだけ
しきりに魔物が
現れるってことは
必ずどこかに
原因がある

それを探るのに
助力が
欲しかった

ほ〜
なるほど

それが
本心ですか

何故お前を
呼んだかつてのは

現在、中央にいる
手の空いている人員で
適任だと判断したのが
お前だったからだ

今は強い騎士を
呼んで力押しで
解決してもらって
わけにもいかない

情勢も
不安定なうえ

例の組織のせいで
あちこちで問題が
起きているからな

なるほど
よくわかりました

都合の良い女
だったってことですね

.....すまん

こちらの都合ばかり
押し付けるようで
申し訳ない

そういえば

まだ
あなたの名前
聞いてません
でしたね

ハンスだ…

ハンスIIデユラブルだ

その見た目で
ハンスって名前
似合いませんね？

偽名だ

本名は
とうの昔に
捨てた

私、
あなたみたいなタイプは
わりと好きですよ

上官を
からかうな。

明日から早速
手伝ってもらおう

まずは
フィールドワークで
街近郊にいる
魔物を調べるぞ

骨が
折れますね

まあ
招集されたわけですし
ちゃんと働きますよ



A close-up, horizontal shot of a character's face. The character has light blue, spiky hair. Their eyes are closed, and their mouth is slightly open, showing a small, dark red tongue. They are wearing a dark red, high-collared garment. The background is a solid, dark red color.

A close-up, high-contrast illustration of a character's face. The character has long, spiky grey hair that frames their face. Their eyes are a deep red color, with a prominent blue 'V' shaped mark on the lower eyelid of each eye. The character has a pale, almost white complexion and a small, dark, triangular mark on their nose. Their mouth is slightly open, showing a small, dark, triangular mark on the tongue. The background is a solid dark grey. In the top right corner, there is a small white speech bubble containing a single black dot.



また……

これか……

TO BE CONTINUED



